

# SMC金融・経済マーケットレポート

Reporter Your Financial Brain SMC 豊島 健治

## 象徴的な、あまりにも象徴的な (田中さんのノーベル賞受賞)

今月、暗い話題ばかりの日本に久しぶりの「ワ  
ンダフル・ニュース」が入ってきた。8日には東  
大名誉教授の小柴昌俊さんがノーベル物理学賞  
を、そして翌9日には島津製作所エンジニアの田  
中耕一さんがノーベル化学賞を受賞することが  
決定したと伝えられたのだ。

小柴さん受賞の知らせに、小泉首相は「日本も  
捨てたもんじゃないね」と笑顔を見せ、田中さん  
の同時受賞を知った翌日には「大したもんだ。(日  
本人は)もっと自信をもっていいんじゃないの」  
と云う嬉しそうな顔がTVを通じて流された。本  
当に嬉しかったのだろう。日朝問題、株価問題、  
金融問題、そして景気問題など頭の痛い問題ば  
かりが山積する中で、首相の気持は多くの国民の気  
持そのものでもあった(と思う)。

特に43歳のサラリーマン田中さんの受賞は、  
私達の身近にいる人が受賞したような感覚を  
与えてくれた。TVや新聞から伝えられる、その笑  
顔、その年令、その地位、その収入、その生活振  
り、そのどれをとっても私達一般人が親しみを感じ  
る要素を持っていた。田中さん自身の立ち居振  
舞いもとてもシャイな感じで、勉強好きで実験好  
きの子供がそのまま大人になったような好印象  
を私達に与えた。「この人いいな」多くの人はそ  
う感じたに相違ない。

しかし、この43歳、年収800万円の課長に  
もなっていない人のノーベル化学賞受賞は、日本  
の経済社会が大きな過渡期にあることを図らず  
も証明した。

東大名誉教授の受賞はいざ知らず、上場企業  
の一社員の受賞は、今の社会構造が工業社会から知  
識社会に突入したにも拘わらず、未だその意味も  
意義も消化できないで、雇用も報酬も今までの仕  
組みの中にあることを露出させた。経済界や政界  
の指導者が本当にこの受賞を喜んだとすれば、そ  
れはほんの一時のことで、その後は「これでいい  
のか」という不安に襲われたことだろう。

最初に驚愕したのは島津製作所だった。社内の  
一主任にまさかノーベル賞が授与されるなんて  
「信じられない」ことだった。その程度の職位と

年収しかしか与えていなかったことに慌てふた  
めき、主任からいきなり役員待遇にすると発表し  
た。もちろん嫌いだというマネジメントは抜きに  
して研究開発だけを行う役員(フェロー待遇と云  
うらしい)である。この嬉しい出来事は、その後  
も同社内に相当の混乱をもたらしている。

国も又驚いた。普通の快挙程度で民間企業の一  
サラリーマンを表彰するなんて考えられないこ  
とだが、ことノーベル賞受賞となれば話が違  
う。今、文化功労賞や文化勲章などを検討してい  
るようだ。これも良く考えてみると、今までの表  
彰制度を根底から突き崩す要素を持っている。田  
中さんの年令や職位は公的表彰制度にそぐわな  
いと考えている官僚は多いと思う。

田中さん自身は、好きな研究ができれば昇進な  
ど望まないと云っているが、四国の一地方企業  
で青色発光ダイオードという大発明をした中村修  
一さんは日本を飛び出し米国の大学教授となっ  
てしまった。そして今、元の勤務先と裁判で争  
っている。裁判では、中村さんの発明は会社で  
なく個人に属すること、その発明によって会社  
が得た利益の一部は個人に支払われるべきこと  
、を求めている。まだその決着はついていない  
ようだが、田中さんのノーベル賞受賞は何故か  
中村さんを連想させた。中村さんがノーベル賞  
を貰ったら、会社や国はどう対応しただろうかと。

工業社会から知識社会へ移動 - それは簡単な  
ことではない。長い時間と多くの混乱を伴うもの  
になる。しかし、それは大分前から始まっている。  
その証拠は、製造業の雇用と付加価値が経済全  
体に占める割合の着実な低下に見て取れる。過  
去10年間のそれを比較したのが下表である。

	2001年	1992年	増減率
雇用数	1,185万人	1,400万人	15%
付加価値	22%	27%	5%

(総務省データ)

工業社会では、均一でムラがなく、しかも勤  
勉な労働力が競争力の源泉だった。しかし、知  
識社会では違う。田中さんのような、あるいは  
中村さんのような突出した個人の力量がものを  
云う社会である。その良し悪しは別として、田  
中さんの受賞は、そうした個人をきちんと評  
価できていない時代の過渡期に起こった象  
徴的な、あまりにも象徴的な出来事だ  
ったように思えた。